

ほんよも

(両面印刷)

No. 017



桂陽高校図書室キャラクター
「じしよひつじ」



新着図書が入荷しています！②

新着図書紹介の続きです。リクエストも随時受け付けていますので、ぜひ図書室へ。

【小説】

○『芥川龍之介全集』（全8巻）

『太宰治全集』（全10巻）

『中島敦全集』（全3巻）



教科書に出てくるような文豪の全集がまた入りました。文庫版なので手に取りやすいです。国語の授業で関心を持った人はぜひ読んでみてください。次回は『宮沢賢治全集』を入れる予定です。

○『木曜日にはココアを』（青山美智子）

川沿いの桜並木のそばに佇む喫茶店「マーブル・カフェ」で展開される12編のお話。全ての登場人物がリンクしており、最後には大きな感動が。読みやすいけど深い。心が温まります。

○『跳べ、暁！』（藤岡陽子）

母親を病気で亡くし、会社を退職した父親と田舎へ越してきた14歳の春野暁。ミニバスをやっていた暁は転校先の中学校で友達を女子バスケット部を立ち上げるが――。感動作です。

○『三日間の幸福』（三秋縊）

今までの人生で何もいいことがなく、未来を悲観して寿命の大半を売り払ったクスノキ。残されたわずかな余生でようやく本当の幸せに気づくが――。ウェブ上の連載が話題になり、文庫化されました。

～4回も親が変わった女子高生～ 『そしてバトンは渡された』（瀬尾まいこ）

内容・あらすじ

高校2年生の森宮優子は血がつながっていない父親「森宮さん」と暮らしています。森宮さんを含めて、優子には父親が3人、母親が2人います。そう言う周囲には同情の目で見られますが、本人としては「困った。全然不幸ではないのだ。」今までの親たちがみないいい人で、精一杯の愛情を注いで育ててくれたから。

やがて優子も大人になり、愛する人とめぐり逢い、結婚する時が来ます。バージンロードを一緒に歩く父親として、優子を選んだのは――。

川口先生の感想

これは本当に本当に名作なので、多くの人に読んでほしいです。読めばわかります。何といっても素晴らしいのは、出てくる人が全員いい人、という点。血のつながらない親たちもみんな自然体でいい人。「いい親になるのに血のつながりなんか関係ないんだな」と思わされます。この作品に限らず、瀬尾まいこさんの小説は意地悪な人や不快な人が全く出てこないで、安心して読めます。図書室にも何冊かありますので、ぜひ読んでみてください。

こちらも現在映画が公開されています。田中圭さんの父親役が素晴らしいと評判です。石原さとみさんもイメージにぴったり。

